



NO.1262

4月5日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八五三
電話三三、四四八
F 四三二、四四五七



「かけある記」 2020年3月30日

自粛に補償を

医療・介護に支援を

前衆議院議員 畠山和也

「学校休校にともなう休業補償を事業所が認めてくれない」「短縮営業になつたため非正規職員の自分は減収。厳しい」など、新型コロナウイルスにとまなう相談が国会事務所や党道委員会にも相次いで寄せられています。

こういう時は思い切った支援が必要です。「自粛を要請するなら補償をセツトで」。この声が全国で広がってきています。小規模事業者や自営業者、フリーランスへ1500ユーロ(約18万円)を第一段階として即時支給したフランスのように、日本でも取り組むべきではないでしょうか。

医療や介護、福祉の現場では「みずからが感染しない」「感染を持ち込まない」と緊張感をもって患者・利用者に接しています。しかし、これまで社会保障予算の抑制路線によって人手不足が続いてきたなか、ギリギリの体制で疲れもたまっていることでしょう。今こそ国が最大限の支援を進めるべきです。

自然災害や感染症の被害は、社会的立場や生活基盤が弱い人に集中していきます。初めに書いた電話相談だけでなく、足を運んで話を聞くと堰を切つたように窮状が訴えられます。感染拡大防止もおこないながら、こういう時こそ日本共産党が力を発揮する時。使える制度も紹介して当面のくらしや商

売を守りながら、拡充策を私も国会へ引き続き連携して伝えていきます。

雪解けも進み、フキノトウなどが芽を出してきました。自粛などの重しが取れた春の喜びを、早く感じあえるようにしたいものです。

流水館

展示物見直しの方角について

村椿議員は流水館の見直しの方角と委託発注等のスケジュールについて質問しました。

地球温暖化の最前線

観光課長は、来館者からのアンケートや関係団体(北方民族博物館、網走監獄、テントランド)との協議はしていないが、意見を聞き取り、方向性の精査をしてきた。

方向は「流水の世界を体感できる」「流水のまち網走が地球温暖化の最前線にあることをイメージ」することを重点にする。

委託は4月以降発注し、7月～12月の期間で実施設計、改修計画作成。令和3年に工事、4年1月リニューアルオープンする計画だと答弁しました。

先週の記事の「155人職員減少」は「135人」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

3月議会が終わって



3月議会が終わって、すぐに取りかかったのが市議団の「市議会だより」でした。村椿議員に頼りきって作業が行われ、何とか年度内に印刷が終わり、配布されることになりました。紙面の関係で3月議会活動の一部分しか書くことができませんが、村椿議員が日本共産党議員団を代表して質問を行った内容の一部と反対討論を載せて、給食問題での委員会審査内容について、LGBTs(性的少数者)の陳情を採択したこと。また、新庁舎建設特別委員会の中継報告の内容についても書かれていますので、ぜひ読んで下さい。

さて、新型コロナウイルスの感染が、北海道では今のところ落ち着いているように見えますが、まだまだ油断はできません。4月は人の移動が激しくなる時期だけに感染が広がるリスクも高くなるので、油断しないで予防に努めましょう。

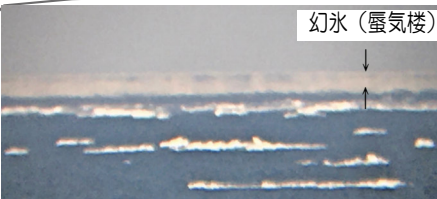
今年雪が少なく、流水まつりの雪像、私



流水まつりの雪像、私は「かまくら」が作れなくて残念だった。

流水は、千島列島が南からの暖流をさそぎり、アムール川の淡水が凍り、いくつもの条件が重なって網走沖に流れてくる貴重な現象だ。流水の下では植物プランクトンが大発生し、豊かな海オホーツクをつくると天都山流水館では、わかりやすく説明してくれた。網走市の観光や漁業に関わる大切な流水を知る施設として、学芸員採用などの充実が必要だ。温暖化防止の啓発にもつながる。昔は流水が来るのが当たり前、最近では今年も来てほしいと願う。今年も流水滞り期間が長く目を癒してくれた。先日、水が大きく見える蜃気楼が発生。双眼鏡とスマホでパシャ！

幻水(蜃気楼)



また来年も流水に会いたい。

流水

毎日、早朝の涼しい内に体力落とさぬ様にとジョギング。朝日にたわわに実のマンゴーが光輝いている。「落ちて来ないか」と、見上げて走る。街路樹にジャックフルーツを発見「こんな所に！」子どもの頭位の実が20個位成っている。▼全世界を震撼させるコロナウイルス。東京オリンピック延期は仕方ないが、日本のコロナ対策は後手後手だ。カンボジア国は対応対策が早い。今、厳戒体制並み。3月17日(月)に、公立私立の全ての幼稚園から大学、各種学校が4月いっぱい休校。カラオケ店映画館等は営業禁止。博物館、美術館、図書館等、公共施設は休館とした。市営バスも乗客にマスクの着用を義務付けた。私がマスクせずバスに乗ると、運転手が「マスクは？」と聞く。「無い」と言う所持参して(運転手はマスク着用)マスクをくれた、お礼をしようとしたら「お金はいらない」と言ったが1ドルを運転手の胸ポケットにネジ込む。カンボジアはお年寄りや、子どもたちにはとても優しい！その市バスも3月26日(木)ついに全面運休となった▼日本も、オリンピック延期後風向きが変わった様に感じる。カンボジア、成田直行便の飛行機が4月12日から欠航になるので早急に帰国することに。ありがとうカンボジア！

アスリート爺